

2005年 月刊『HOUSING』調べ
住宅建築に関する意向調査

2005年9月30日(金)

株式会社リクルート
住宅ディビジョンカンパニー

月刊『HOUSING』では、住宅建築に対する意識や住まいへの希望を把握するために、注文住宅の建築予定者への調査を実施しています。2005年の傾向がまとまりましたので、経年比較とあわせてご報告いたします。

<< TOPICS >>

新築・建て替えのきっかけとして「災害に備えて」が昨年から7.3ポイントUP。
また、住宅建築における重視点でも「地震対策(耐震性・免震性)」が8.7ポイントUP。…………… P 4

住宅建築検討者に占める団塊ジュニア世代の割合は年々増加。
2004年は、4年前の約3倍となる26.0%に達した。…………… P 6

住宅展示場の利用率は全体の77.9%。年代別では30代が最も高く80.4%。
エリア別では九州が最高で84.5%、最低は首都圏・近畿で72.3%。… P 7

本調査についてのお問合せは、下記までお願いいたします。
[Http://www.recruit.co.jp/corporate/support/inquiry_press.html](http://www.recruit.co.jp/corporate/support/inquiry_press.html)

HOUSING

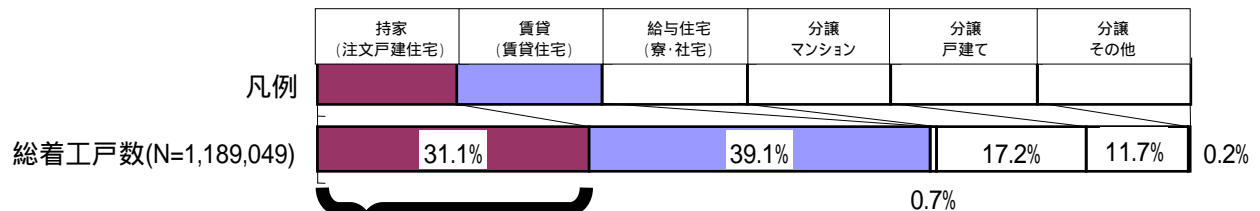
調査概要

- 調査目的 ... 注文住宅を建築する予定のある人の、住まいの希望や住宅意識を把握する。
- 調査対象 ... 月刊『HOUSING』の読者の中で、事前確認において「新築・建て替えを検討中」とお答えいただいた世帯
- 調査方法 ... 郵送法 事前にアンケート協力の許可を得られた世帯に発送
- 調査期間 ... 2005年5月19日～2005年5月30日
- 集計数 ... 調査票発送数 : 1,047票
 回収数 : 922票 (回収率88.1%)
 最終集計対象数 : 915票

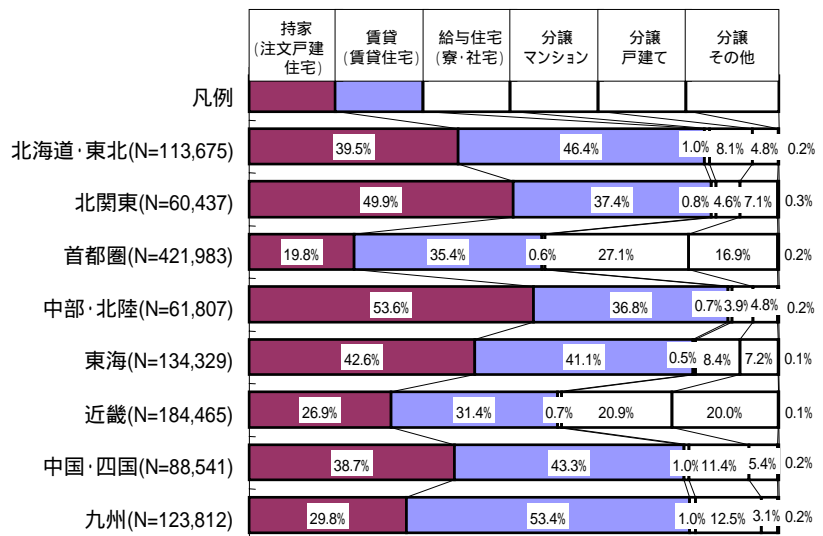
《参考:住宅建築マーケット》

* 国土交通省「住宅着工統計」

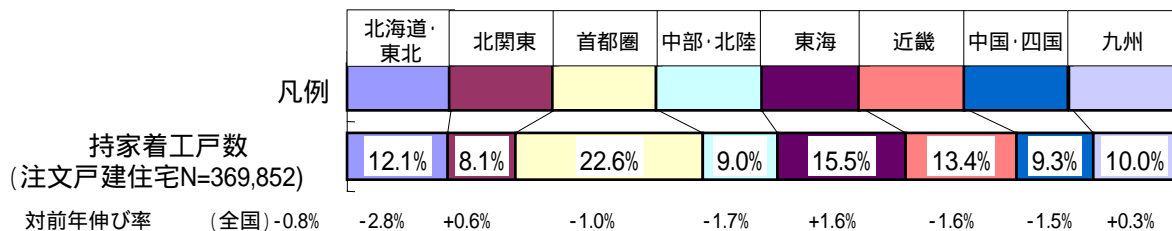
2004年(1～12月)新設住宅着工戸数:利用関係別(%)



新設住宅着工戸数:エリア別(%)

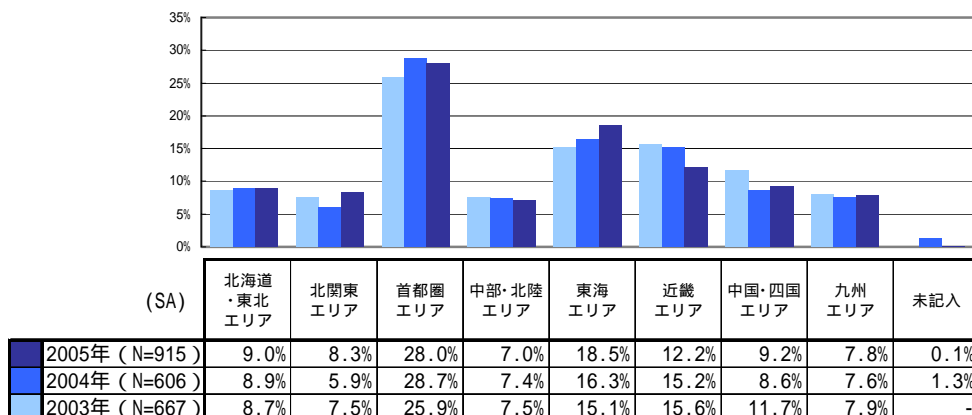


持家着工戸数:居住エリア別(%)



回答者プロフィール

回答者居住エリア (全体/単数回答) (2003-2005年)

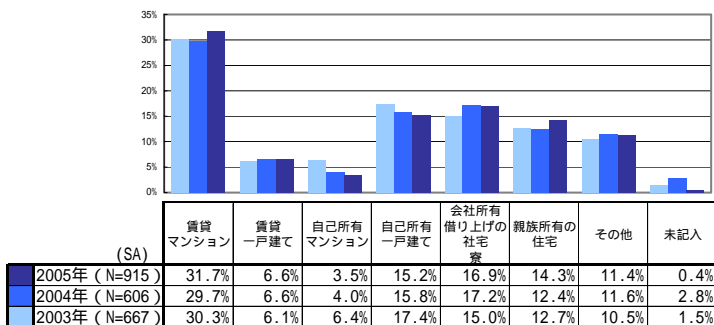


都道府県別 (全体/単数回答) (2004-2005年)

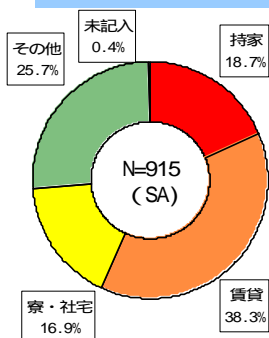
上位1~5位に*

		北海道・東北					北関東					首都圏						
		北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県			
2005年		1.5%	1.6%	1.1%	0.9%	1.4%	0.4%	2.0%	3.3%	2.2%	2.8%	*6.8%	4.6%	*8.4%	*8.2%			
2004年		2.1%	1.7%	1.2%	0.8%	0.7%	1.2%	1.3%	2.0%	1.0%	3.0%	6.8%	5.0%	10.1%	6.9%			
		中部・北陸					東海					近畿						
		新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	静岡県	愛知県	岐阜県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	
2005年		1.4%	0.8%	0.9%	0.4%	1.1%	2.4%	*5.5%	*9.3%	2.0%	1.7%	1.3%	1.9%	3.0%	3.9%	1.0%	1.2%	
2004年		0.8%	0.2%	1.8%	1.2%	1.2%	2.3%	6.1%	6.4%	1.3%	2.5%	1.2%	2.3%	6.1%	3.1%	1.0%	1.5%	
		中国・四国					九州											
		鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県
2005年		0.2%	0.8%	1.6%	1.3%	1.3%	0.7%	1.2%	1.4%	0.7%	1.9%	0.5%	0.7%	1.2%	1.2%	0.7%	1.0%	0.7%
2004年		0.2%	0.7%	1.0%	1.7%	1.7%	0.7%	0.5%	1.3%	1.0%	2.0%	0.7%	0.3%	1.2%	1.0%	0.7%	1.3%	0.5%

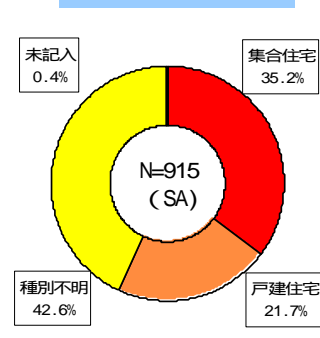
現住居の種類 (全体/単一回答) (2003-2005年)



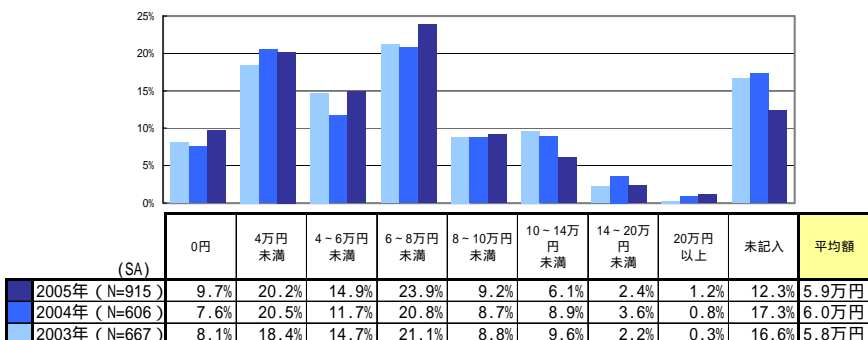
持家/賃貸別 (全体/単一回答) (2005年)



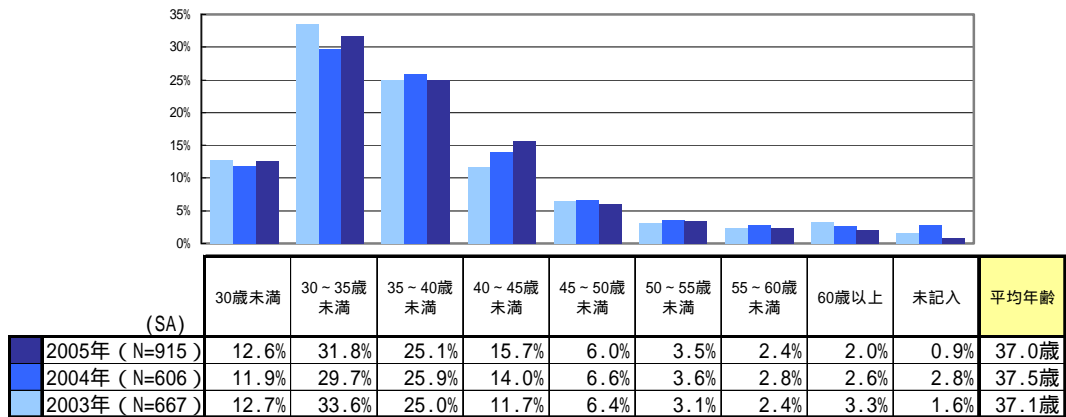
集合/戸建て別 (全体/単一回答) (2005年)



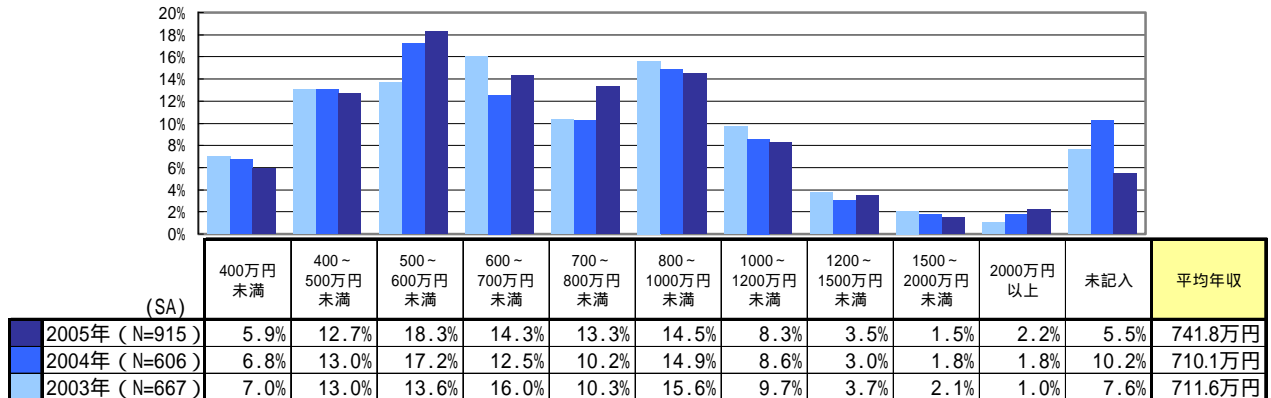
毎月の住居費 (全体/単一回答) (2003-2005年)



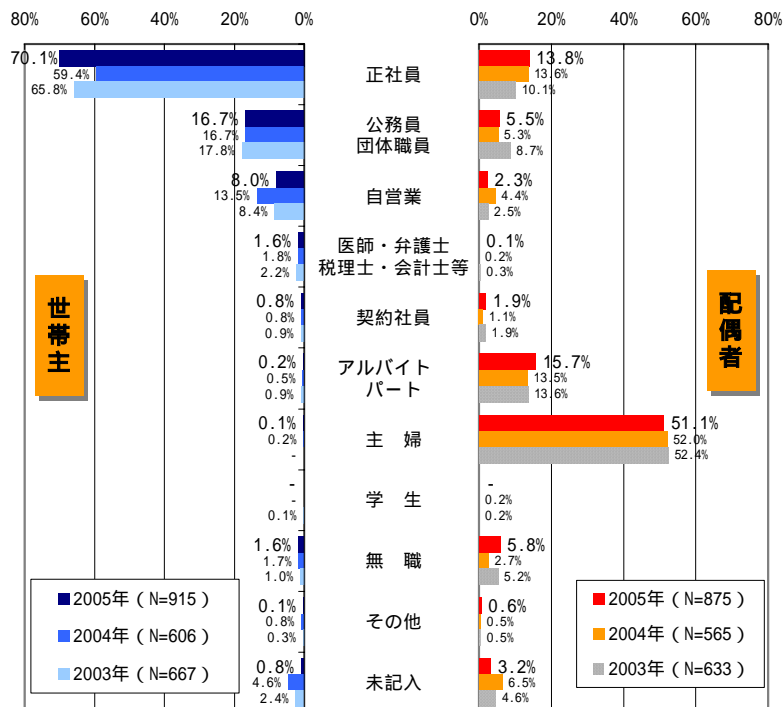
世帯主年齢 [全体/単一回答] (2003-2005年)



世帯年収 [全体/単一回答] (2003-2005年)



世帯主と配偶者の職業 [全体/単数回答] (2003-2005年)

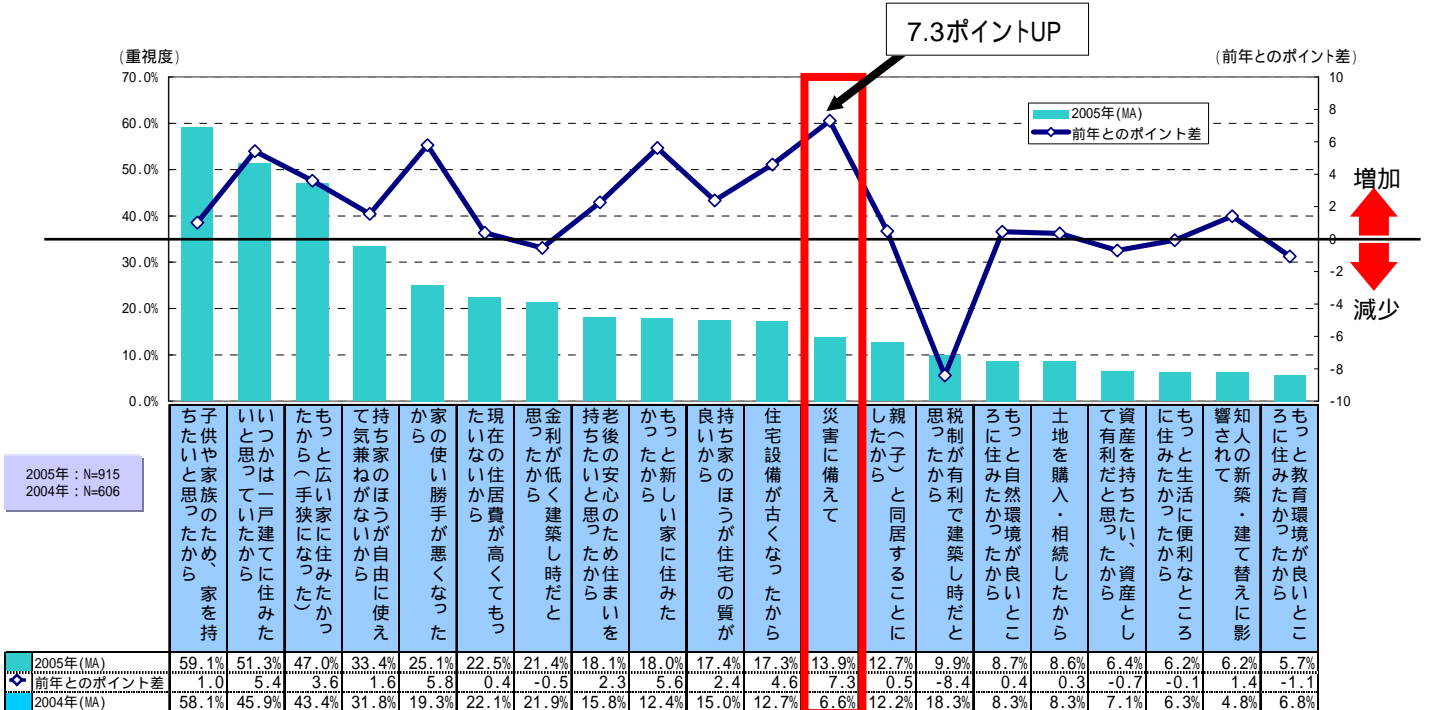


TOPICS

新築・建て替えのきっかけとして「災害に備えて」が昨年から7.3ポイントUP。
また、住宅建築における重視点でも「地震対策(耐震性・免震性)」が8.7ポイントUP。

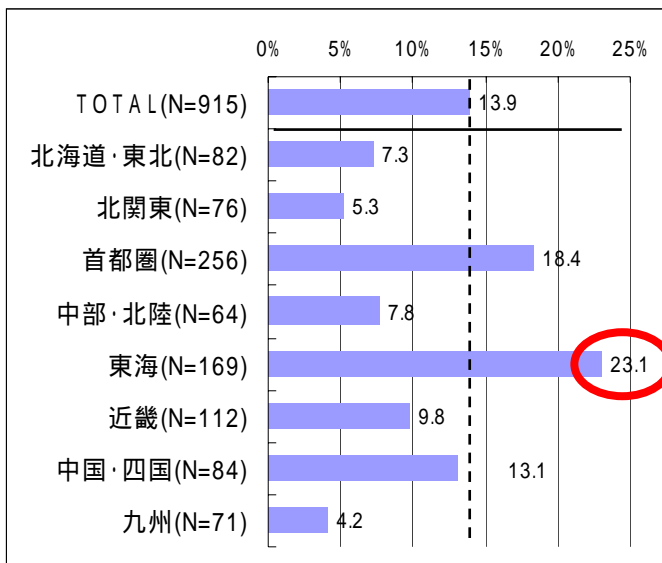
新築・建て替えのきっかけとして、
全体の13.9%（およそ7人に1人）が「災害に備えて」をあげ、昨年と比べて最も増えた。
特に東海エリアでは23.1%と高くなっている。首都圏の18.4%がそれに続く。
住宅建築における重視点でも「地震対策」が東海エリアにおいて94.1%と特に高くなっている。

新築・建て替えのきっかけ [全体/複数回答] (2004-2005年) 上位20項目を表示

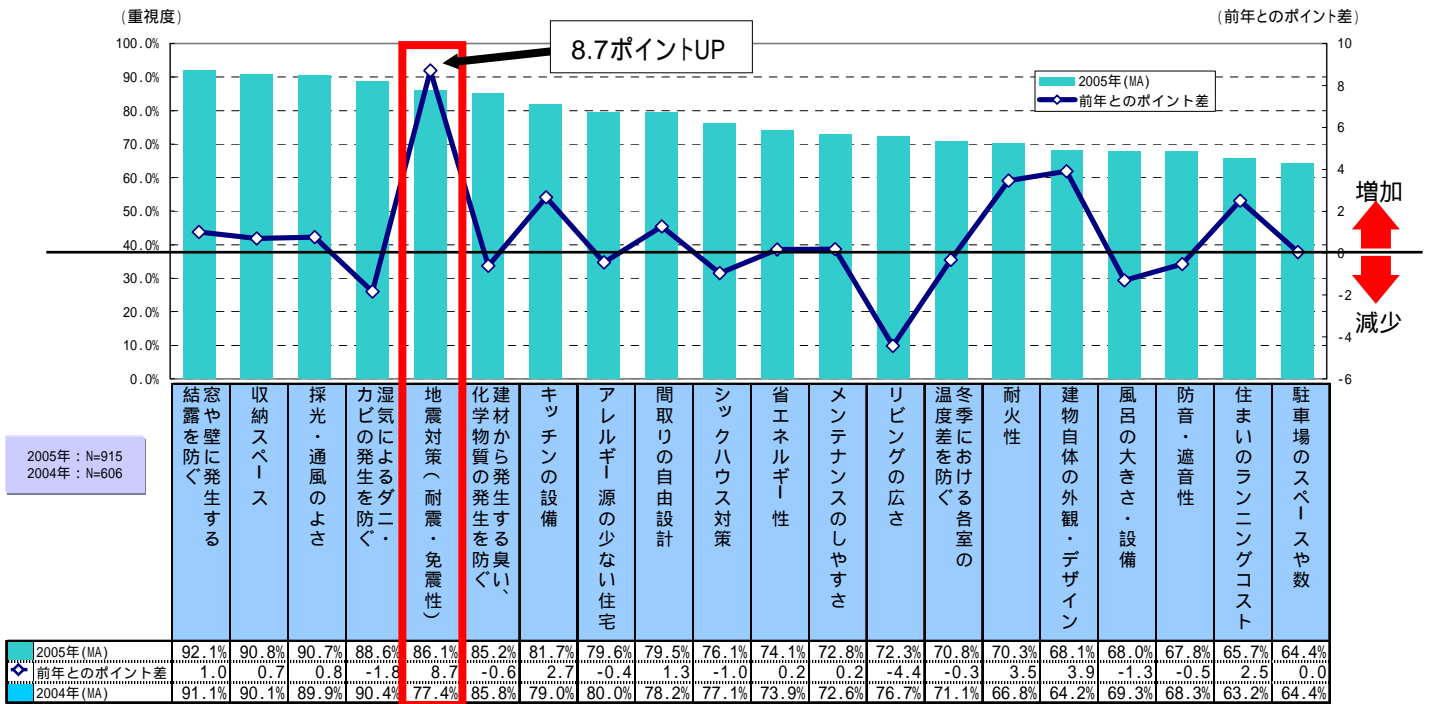


エリア別の新築・建て替えのきっかけ「災害に備えて」

[全体/複数回答] (2005年)

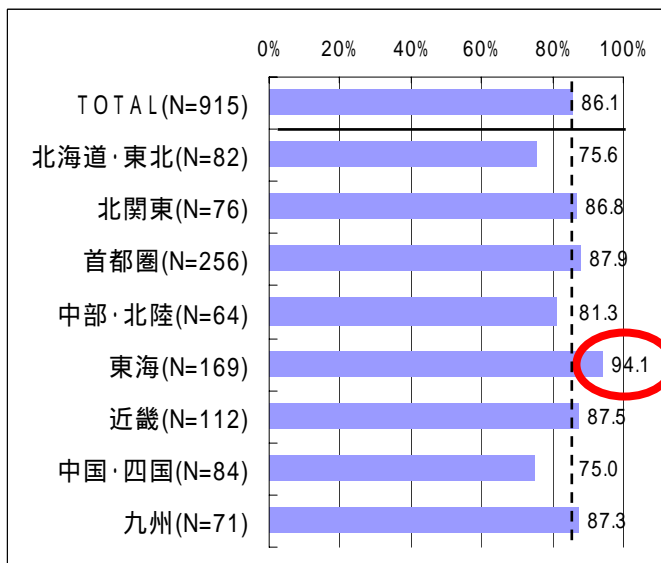


住宅建築における重視点 [全体/複数回答] (2004-2005年) 上位20項目を表示



エリア別の住宅建築における重視点 「地震対策(耐震・免震性)」

[全体/複数回答] (2005年)



TOPICS

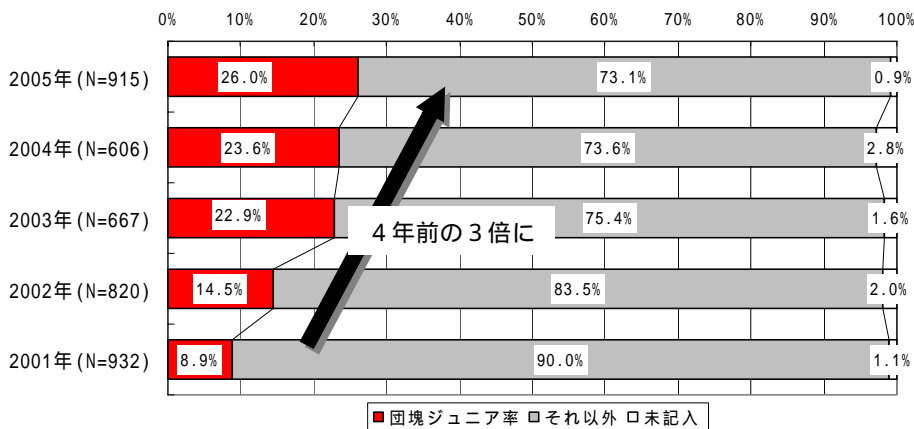
住宅建築検討者に占める団塊ジュニア世代の割合は年々増加。
2004年は、4年前の約3倍となる26.0%に達した。

団塊ジュニア（1971～1974年生まれ）の比率は年々増えており、今回の結果では、4年前の約3倍にあたる26.0%を占めている。

新築・建て替えのきっかけでは、「子供や家族のため」「いつかは一戸建てに住みたいと思っていた」のほか、「金利が低い」「税制が有利」など費用関連の項目で団塊ジュニアの回答率が高くなっている。

住宅建築における重視点では「間取りの自由設計」「リビングの広さ」などが高くなっている。

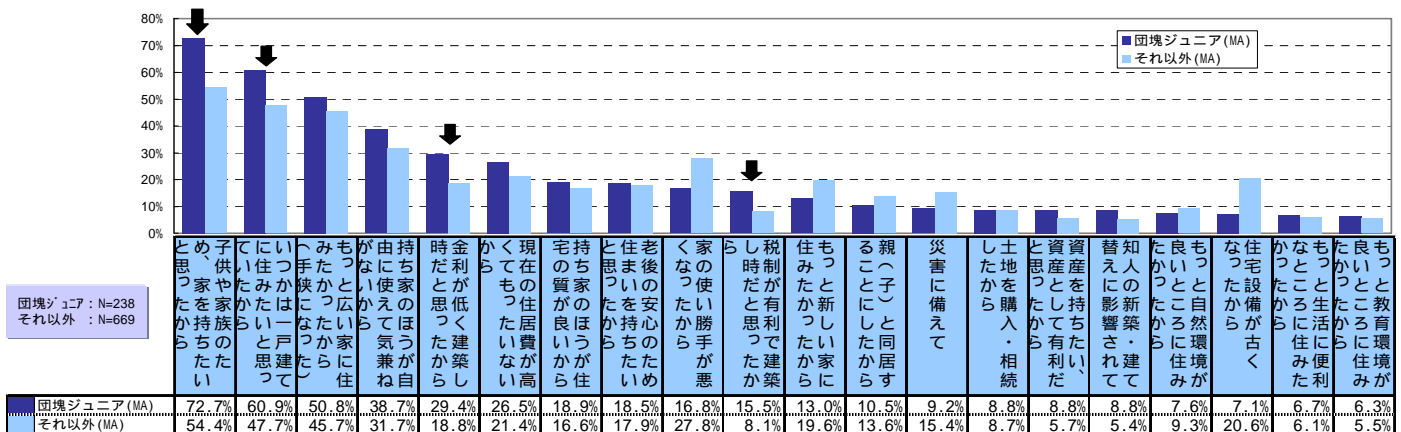
団塊ジュニア世代の割合 [全体/世帯主年齢より集計] (2001-2005年)



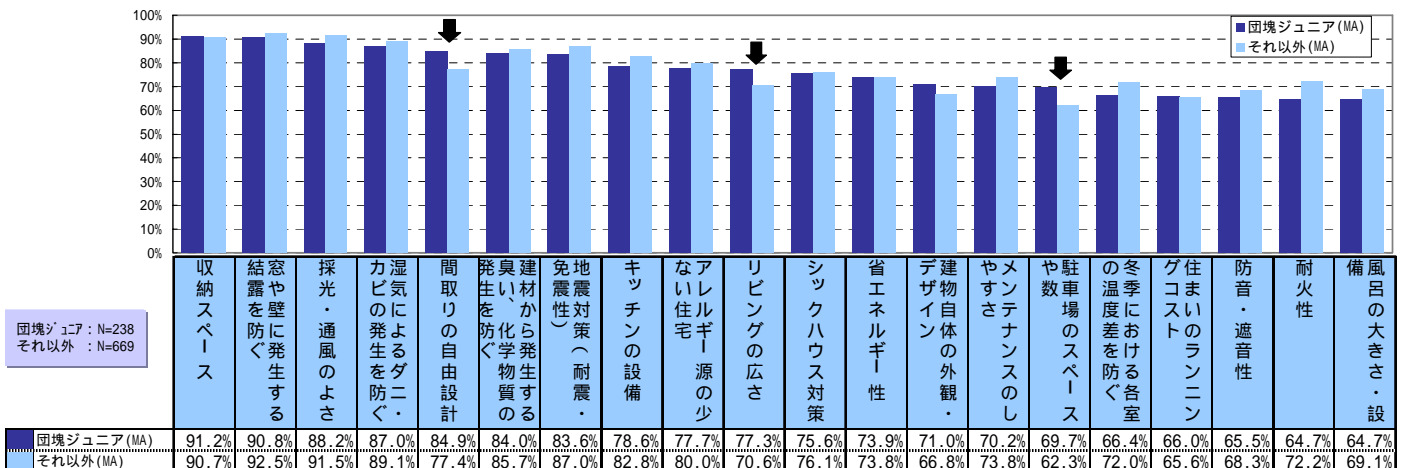
団塊ジュニアの定義: 1971年～1974年生まれ

- 2005年: 世帯主年齢31～34歳
- 2004年: 世帯主年齢30～33歳
- 2003年: 世帯主年齢29～32歳
- 2002年: 世帯主年齢28～31歳
- 2001年: 世帯主年齢27～30歳

新築・建て替えのきっかけ [全体/複数回答] (2005年) 団塊ジュニア上位20項目を表示



住宅建築における重視点 [全体/複数回答] (2005年) 団塊ジュニア上位20項目を表示

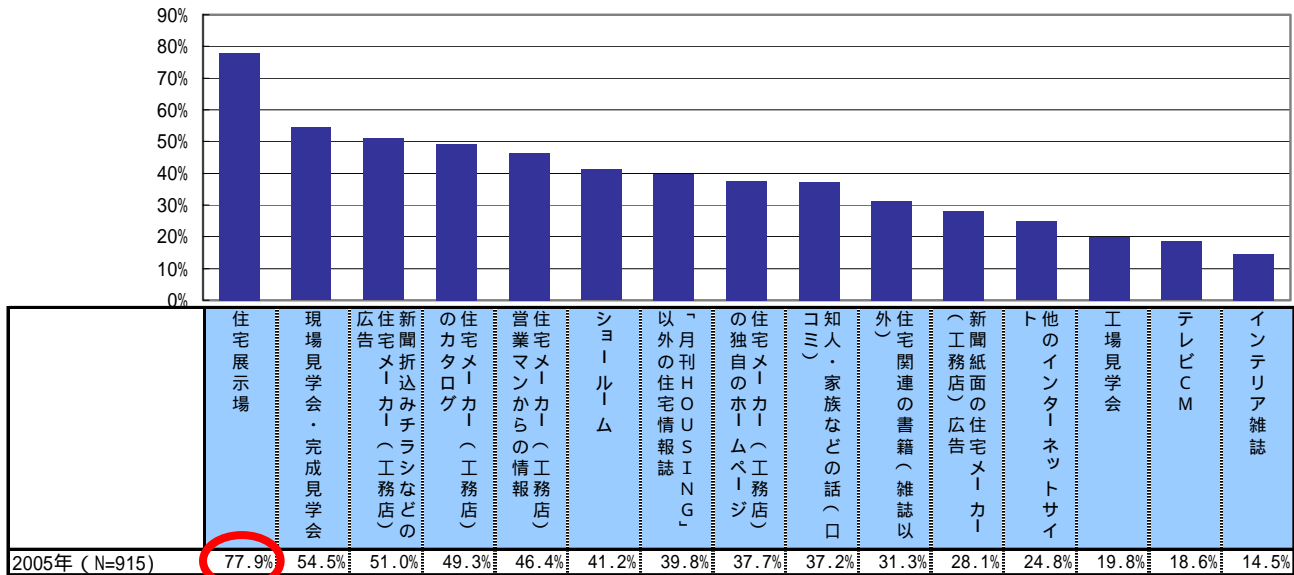


TOPICS

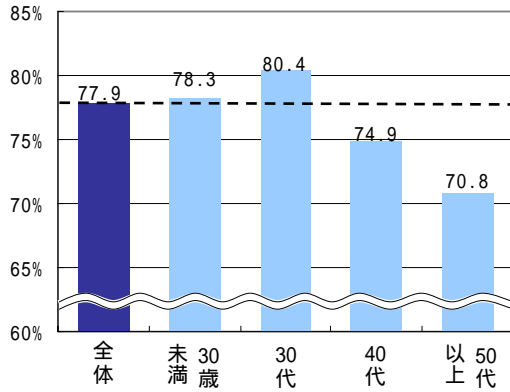
住宅展示場利用率は77.9%。年代別では30代が最も高く80.4%。
エリア別では九州が最高で84.5%、最低は首都圏・近畿で72.3%。

住まい選びにおいて利用した情報源として「住宅展示場」をあげたのは、全体の77.9%。
年代別では30代が80.4%と最も高く、40代・50代と年齢が上がるにつれて低くなる傾向にある。
エリア別では、首都圏・近畿といった都市部は低く、それ以外の地方の方が高い傾向にある。

住まい選びにおいて利用した情報源 〔全体/複数回答〕(2005年) 上位15項目を表示(リクルート提供の媒体は除く(雑誌・net))



年代別の住宅展示場利用率 〔全体/複数回答〕(2005年)



エリア別の住宅展示場利用率 〔全体/複数回答〕(2005年)

